

わくわく自然探検

親子で楽しむ自然あそび ～頭も身体も心も動く

長谷川依子（松戸市）

日 時：2024年5月11日（土）10時～12時、天気：晴れ 24℃

場 所：21世紀の森と広場 みどりの里（松戸市）

参加者：28名（大人14名、子ども14名）

講 師：榎田・長谷川、スタッフ：相吉・渋谷子・廣川

21世紀の森は風爽やかな五月晴れ。公園主催の観察会は11家族28名の親子を幼児班と小学生班に分けて行った。担当の幼児班は4歳児が中心で、開始早々は五感を使って楽しもうとの誘いも、緊張感からかパパやママにおんぶに抱っこで、ゴマキやドクダミ等の匂いにも反応は無し。手触りを感じてもらおうにも葉を触ろうともしないので、そうだ、クイズだ！と「子どもの葉っぱと大人の葉っぱ、どっちだ？」と2枚を掌に隠して一人一人に質問すると、どの子も答えようと近付いてくる。その後シラカシの萌黄色の若葉と濃い緑色の葉を触ってこっちは柔らかくてツルツルだ～と確認、色々な葉の違いへの気付きにつないだ。

広場に移動し、魔法をかけますよ～、シロツメクサの輪っかの魔法や指輪作りで少しずつ子どもたちの心が開いてきた頃、準備した折り紙の色見本と同じ色のものを探してもらう“色探し”を始めた。黄緑・緑・青・黄色・ピンクなど好きな色を選んで色々な所へ探しに行き、一所懸命見つけては黒いフェルトに並べて大人も子どもも真剣にその理由を説明してくれる。それを聞いて皆納得して拍手。2枚(2色)では足りずもっと！もっと！と繰り返し探しに行っては得意気に披露してくれた。また難しいかなと思っていたタンポポ笛も、4歳の子たちがパパママより上手に鳴らして得意満面。悔しがる大人たちの笑い声も楽しい。

後半は“わたしのぼくの宝もの探し”。「一番素敵な宝物を見つけてきてね」の声に三々五々散っては沢山の宝物を手集まる。オオイヌフグリやユウゲショウの花、ヘビイチゴの実、レンゲの種、バッタの脱皮の抜け殻など小さな手でそっとつまんでチェック布に並べては、嬉しそうに全員でその理由の発表会。最後は虫探しの時間とした。幼い子は小さなものが良く見える。テントウムシの幼虫・蛹・成虫やクサキリ、クサグモを見つけてはチャック付きの袋に入れて、バグズルーペで観察。虫不得意のママにも安心して見てもらうと、思いの外、きれいな色や顔が可愛いと驚きの声が上がった。

終わりに♪たんぽぽ たんぽぽ 向こう山へ飛んでいけ～のわらべ歌遊びをすると、もう一回！と全員からリクエストの声が上がり中々解散できない誤算も。帰りたくないという声の中♪さよなら あんころもち～でさよならし、会は笑顔と笑い声に包まれ終わりとなった。

参加者からは、色紙で探すと自然には本当に色々な色があると解って楽しかった。今まで同じ緑色でもたくさんの緑の色があるということ考えたことがなかった、これからは注意して見ていきたい。最初はぼおっと見ているだけだった我が子が途中から色を探すのが楽しいと言っていたので参加して良かった。2時間あっという間だった等の感想を頂いた。

一つの発見が次の「やってみたい」に繋がって好奇心や感受性が磨かれる。今、盛んに大事だと言われている非認知能力（好奇心・協調性・自己肯定感・コミュカ・学校で学んだことを自在に使いこなす能力など）を伸ばすことにもつながる自然あそび。今日の時間が、少しでも幼い人や育ちに関わる大人へのきっかけになれば嬉しいなあ。楽しい観察会でした。



選んでならべたワタシ&ボクのとびっきりの一番